

理数科校外学習 乗鞍岳の自然観察

7月14日(木)理数科1年生が校外学習で乗鞍岳を訪れ、自然観察を行いました。

往路では、標高とともに、落葉広葉樹、針葉樹へと植生が変化していく様子を観察し、森林限界を超えたところで視界が開け、ハイマツが一面に広がる美しい景色に見とれました。また、朴の木平スキー場(標高約1300m)とスカイラインにある展望台(標高約2000m)では、バスから降りて、標高の変化に関連した実験・調査を行いました。



目的地の畳平(標高約2700m)では、魔王岳に登って昼食をとったのち、高山植物の観察を中心に現地での研修を行いました。心配された雨も持ちこたえ、生徒たちは、自分で計画した調査ができたことや、授業で学んだ植生の変化を自分の目で確認できたこと、そして美しい高山植物をたくさん見られたことにとっても満足していました。



○生徒の感想

・生態系の移り変わりがとてもわかりやすく見られて勉強になった。また、高山植物一つ一つを見ても、特徴があって観察しがいがあった。なぜそこに生えているのか、なぜそこには生えていないのか、なぜこんな地形になったのだろう等考えるのも自分のためになったと感じたし、わからないとき先生に聞くと丁寧に教えてもらったのがとてもありがたかった。

・普段写真や映像でしか見ていなかったものを、実際に見てその場の空気が鮮明に感じられたことはもちろん、自らの手で高山植物の写真を撮れたりして、実際に見てみることの大切さや楽しさがよくわかった。

・研究内容や研究方法などを考えて最初から最後まで自分の力でやることが初めてだったので面白かった。高山植物の特徴などを自分の目で見て確認できたから分かりやすかった。

・校外で実験したこと、気圧の変化や標高の高いところ特有の環境の変化を体験できたこと等々、とても満足した。



・高山植物を間近で観察できたことがとても満足しました。また、雷鳥を撮影はできなかったけれども、実際にみることで思い出になりました。移動時間が長かったけれどもそれよりも中身の濃い研修になって良かったです。

・外来種は駆除が前日に行われてあまり見ることができませんでしたが、乗鞍で詳しい方に話を聞くことができた。また、外来種ではないですがたくさんの植物についての話もきくことができた。



・どんどん上に行くにつれて木の長さが変わっていくのを実感できたので良かったです。また、周りの霧の様子が変わっていてきれいで感動しました。

・事前学習で大学教授だからこそ聞ける面白い話が聞けてとても分かりやすく楽しかった。普段は自分から調べないことを自分達で研究方法まで考えてやる所が面白かった。

・植物は環境に適応するために進化し、成長していく。その中で山という標高が高いところ選ぶ植物たちに感動した。また、酸素が薄いので、すぐ疲れました。山の上で食べる弁当はとてもおいしかったです。



・ライチョウは確認できなかったが、下界では見られないような植物が見られて面白かった。

岐阜県の魅力の一つが確認できてよかった。研究テーマに対しての下調べが不十分だったので、また研究するときは下調べをしっかり行いたい。

・どの植物を調べるか、目的をもって観察できたことで、スムーズに学習を行えた。また、お花畑に咲いておらず開花時期とはずれてしまったのだろうかと思ったイワギキョウも鶴ヶ池の周りに咲いていて、観察できたことを嬉しく思った。

・事前学習では、「これと、あれと、さらにあれと、」といったようにたくさんの植物について調べようとしていましたが、実際行ってみると、「あれ、コマクサとヨツバシオガマしかまだ見てないけど・・・」といったように自分が思っていることは、現実とは違うものだと改めて実感しました。でも楽しかったです。

・バスに乗っていてだんだんと植生が変わっていくのがわかっておもしろかったです。お花畑ではたくさんの花を見ることができたのでよかったです。高山に上ると空気が薄くて気温が低いのを実際に感じることもできたので良かったです。

・景色がとても良く、また、いろいろな種類の植物をじっくり見ることができていい経験になった。葉や花の形からどの植物か考えるというのは初めてで、とても楽しかった。

・授業で習ったものが実際に見えたこと、また、仲間と協力し合いながら実験を行い無事に成功できたことが何よりうれしかったです。

